

特定非営利活動法人 文化交流機構「円座」

第2回東日本大震災義援報告書

東日本大震災義援展寄付金について

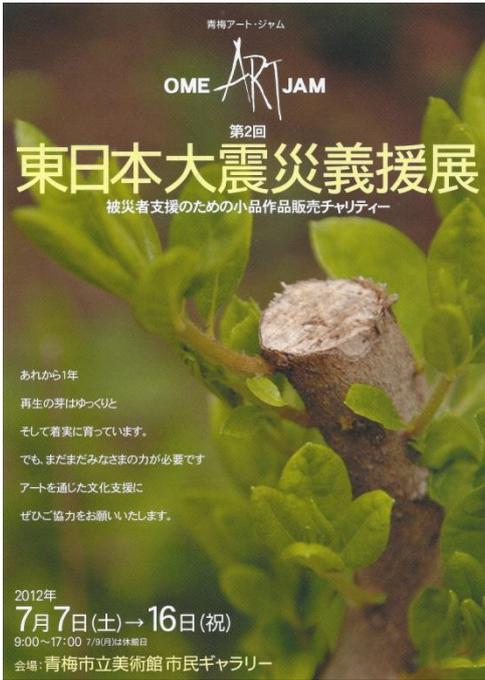
特定非営利活動法人 文化交流機構「円座」

平成24年9月作成

〒158-0097 東京都世田谷区用賀3-25-1 TEL&FAX03-6411-7358

enza@wave.dti2.ne.jp <http://www.npo-enza.com>

第2回東日本大震災義援報告書



会期：平成24年7月7日（土）～16日（月・祝）
 時間：9：00～17：00
 会場：青梅市立美術館市民ギャラリー
 協力：青梅市立美術館
 出品作家：阿部静 阿部修二 伊藤光治郎 池田菜摘
 池田真弓 上村由希 梅野歩美 江口舞悠
 江見高志 押元一敏 大村雅一 加藤晋
 北村さゆり 黒田理恵 塩野圭子
 杉浦裕二 杉本洋 鈴木寿一 鈴木ひろみ
 高橋朋子 田島環 辰巳寛 楯とおる
 谷えり子 土屋禮一 つちやゆみ 中野滋
 長倉陽一 長濱恭子 平岡栄二 藤浪瑛智
 舟越桂 松倉茂比古 谷中美佳子
 山口英子 山口幹也 山本伸之 由木浩子
 由木礼 瑠璃白（五十音順・40名）

石出納（教総）No. 1-28

領収証書

住所 東京都世田谷区用賀3-25-1

氏名 特定非営利活動法人文化交流機構「円座」様

¥565,100円

東日本大震災に伴う学校教育に関する寄附金として、上記の金額を領収いたしました。

平成24年8月7日

宮城県石巻市殿町14番1号
 石巻市会計管理者 松川



石教総第147号（No. 28）

受領証明書

上記のとおり、会計管理者が受領したことを証明いたします。

平成24年8月7日

宮城県石巻市殿町14番1号
 石巻市長 亀山



〔個人の方へ〕

この寄附金を支払った翌年の1月1日現在でお住まいの市区町村または所轄の税務署へ申告することにより、住民税及び所得税の控除が受けられます。

所得税の寄附金控除及び住民税の寄附金控除の双方の適用を受けようとする場合は、所得税の確定申告が必要となります。確定申告書に本書を添付し、所轄の税務署で確定申告の手続きをしてください。

所得税の確定申告をしない給与所得者または年金所得者で、住民税の寄附金控除の適用のみを受けようとする場合は、「道府県民税・市町村民税寄附金控除申告書」に必要事項を記載し、本書を添付の上、寄附金を支払った年の翌年の1月1日現在お住まいの市区町村へ申告してください。

〔法人の方へ〕

法人税法の規定に基づき、寄附金が当該事業年度の損金に算入される場合があります。

使途:「学校教育に関する寄附」

損壊した学校の施設の復旧費用、児童生徒の机など学校に配備する備品の購入費用など学校教育関連の災害復旧等対策の財源として活用。

義援金総額 56万5100円

平成24年3月画廊飛鳥（奈良県）からの義援金13,400円を含む

青梅市教育文化課から
 指定金融機関七十七銀行石巻支店へ送金

平成24年9月13日（木）～14日（金）
 宮城県石巻市本庁 石巻市教育委員会を訪問
 ＊ 目録贈呈と石巻市の復興状況について聞く
 ＊ 現地視察

石巻市は、北上エリア、河南・桃生エリア、河北エリア、雄勝エリア、西部市街地エリア、東部市街地エリア、牡鹿エリアの7エリアに区分されているが、今回は石巻市役所のある西部市街地エリアを視察。



石巻駅

石巻市内



石巻市震災復興基本計画の位置づけ

1 震災復興基本計画とは

本計画は、復旧・再生のための新たな産業創出や減災のまちづくりなどを推進しながら、快適で住みやすく、市民の夢や希望を実現する「新しい石巻市」の創造を目指す、復興に向けた道標となるものです。

2 計画の期間

復旧期(平成 23 年度～25 年度までの 3 年間)や再生期(平成 26 年度～29 年度までの 4 年間)、発展期(平成 30 年度～32 年度までの 3 年間)を経た概ね 10 年間とし、平成 32 年度を復興の目標に定めます。

3 復興の主体

復興の主体は市民一人ひとりであり、行政、地域、企業、大学、NPO などの多様な主体が果たすべき役割を明確に持ち、絆と協働により、復興事業相互の相乗効果を高めあいながら復興に向けて取り組んでいきます。

4 対象地域

市内全域とし、早急な現状復旧を目指す地域と、特に甚大な被害のあった地域は、新たなまちづくりを考えた復興を目指す地域とします。

石巻市震災復興基本計画
 —最大の被災都市から世界の復興モデル都市石巻を
 目指して—
 絆と協働の共鳴社会づくり (概要版) より抜粋
 編集・発行 平成 23 年 12 月
 石巻市復興対策室
<http://www.city.ishinomaki.lg.jp>



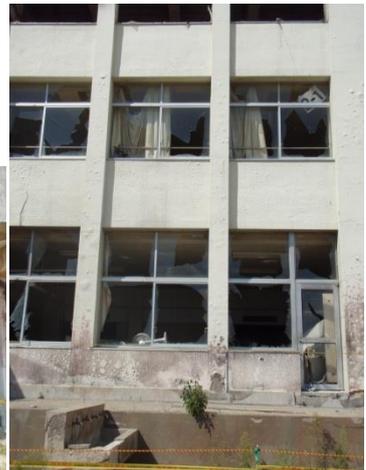
2011年8月23日の門脇小学校

背後に日和山を控えており、
日和山の向こう側は、被害が
及んでいない。



2012年9月13日の門脇小学校

校舎東側の火災が激しく、未だ手
付かずのまま。立入禁止の黄色い
ロープが張られている。



石巻市立小学校 42 校、市立中学校 21 校が不便を余議なくされている。
市の合併後、平成 20 年からの学校統廃合計画が大震災により頓挫。
学校再建は、1 階は多目的ホール、2 階以上が教室、屋上には太陽光パネル、
備蓄スペースを確保し、学校が避難所となるよう計画されているとのこと。



門脇小学校周辺
処理業者は入っているが、
車も瓦礫も山積み状態。
周辺は家が無くなった為、
道案内がしにくくなったと
聞く。



蠅・蚊の発生は収まったが、道路の地盤沈下の為下水道施設の整備が必要。

宮城県石巻市役所訪問



●第2回東日本大震災義援展義援金目録進呈

左：石巻市教育委員会

教育長 境 直彦氏

右：文化交流機構「円座」

副理事長 嶋津 外志彦

●教育長より、復興状況を聞く。

学校再建、住まいの整備、下水道及び
道路工事、漁港の稼働率など。



大臣視察案内の折り、家が無
くなり、道がわからなくなり
ました。

●出席者

*石巻市教育委員会

教育長 境直彦氏

事務局長 佐藤和夫氏

教育総務課 主任主事 山内龍一郎氏

*文化交流機構「円座」

副理事長 嶋津外志彦

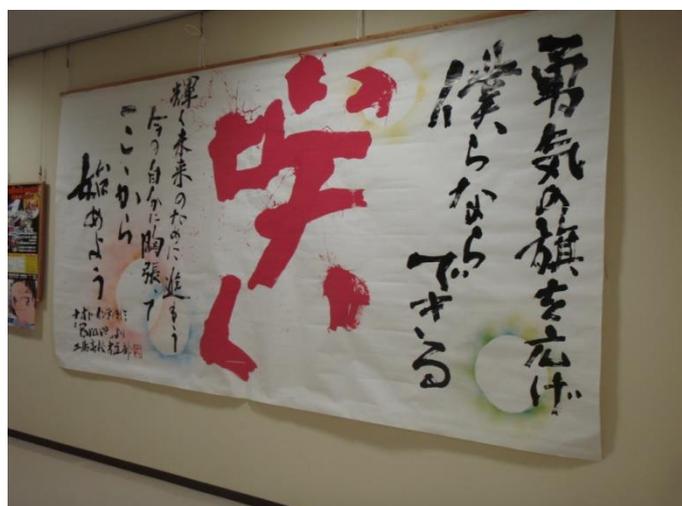
事務局長 松島美知子

震災当日、ゴムボート
を手で漕いで役所に出
入りました。

市役所駐輪所の自転車ハンドル部分
まで浸水とのこと。

市役所 4F

静岡県立三島高校書道部より贈呈



拝啓 新涼の候 貴殿におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

このたびは、当市の教育行政につきまして、格別なるご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。ご支援いただきました寄附金は、損壊した学校施設の復旧、津波により流失した学校備品の購入などに使わせていただきます。

昨年は、歴史上類を見ない大震災により、住まいや働く場、都市・産業基盤となる道路、子どもたちの学びの場である学校などが襲われ、深い悲しみと苦しみに見舞われた一年でしたが、それでも精一杯生き抜こうと、新たに決意し希望を見出すことができた一年でもあったのではないかと確信しております。

子どもたちも、国内外の皆さまの温かいご支援、ご声援、そして暖かいお心に支えられ、人と人の「絆」や助け合うことの大切さを肌で感じ、たくましく成長しながら、未来に希望を抱いて精一杯励んでおります。

被災地の子どもたちを思い、ご支援とご協力くださった皆様の思いに込めるためにも、職員一丸となり、教育環境の復興に全力で取り組んでまいる所存です。

貴殿のますますの御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、末筆ではございますが、御礼の御挨拶といたします。

平成二十四年九月十三日

敬具

宮城県石巻市教育委員会教育長 境 直



特定非営利活動法人 文化交流機構「円座」様

いただきました寄附金は、被災した学校の児童生徒のために活用しております。



児童の机・椅子を購入しました。写真はその一例です。



新しい机・椅子で授業を行っております。写真は市立鹿栗小学校です。

昨年（平成23年）
義援金の使途報告

・石巻市教育委員会より通知



授業で使用する備品を購入しました。写真はその一例です。



授業で使用する備品を購入しました。写真はその一例です。

*** 本年（平成24年）の義捐金も見える形になることを申し伝えています。**

石巻市から通知の際は、ご協力の皆様にお知らせ致します。